

Q1

学習指導要領において、学習内容が「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」と小中高で統一されました。新しい教科書の構成や、小学校、高等学校との関連について教えてください。

A

- 年間指導計画の全国的な傾向や食育の重要性、生徒の発達段階、興味・関心を考慮し、A(1)のガイダンスのあと、生徒にとって興味・関心を持ちやすいB、Cの「自立」の内容から始まり、幼児や高齢者、地域といったAの「共生」の内容へと流れ、高等学校につながる配列となっています(巻頭口絵①-②)。
- 小学校での学習内容は、ガイダンスで示すとともに「小学校」マークでも明示しています。高等学校との関連は、配列の工夫のほか、高齢者や三者間契約、ユニバーサルデザインの内容などで高等学校への引き継ぎを意識して編集し学習の関連を持たせています。また、3年間のまとめ「家庭分野の学習を終えて」でこれからの自分について考える内容を入れています。
- 1節1単位時間想定、全53節で年間カリキュラムの見える構成にしています。教科書を前から順に使っていただければ、新任の先生や臨時免許の先生にも、小学校、高等学校の学習を踏まえて3年間の見通しを持って安心してご授業していただけます。

Q2

新設された「蒸す」調理は、教科書でどのように扱っていますか。

A

- 「いつも確かめよう」で加熱調理の一つとして掲載しています(p.60)。蒸し器の使い方は、全体をイメージしやすいイラストで解説し、家庭でも実践できるよう蒸し器がない場合の蒸す調理法も掲載しました。調理法による違いを比べる活動例(p.62)や、調理実習例(p.76、p.80、p.231)でも取り入れています。
- 「蒸す」は、加熱調理法の一つで、メインの調理での扱いは現状あまり想定されていません。生徒にとっては「煮る」、「焼く」も新しく学ぶ調理法のため、「蒸す」だけにとらわれず、実習例はすべての調理法を幅広く扱っています。



▲「蒸す」調理の説明 p.60



▲蒸し調理の方法 p.60

Q3

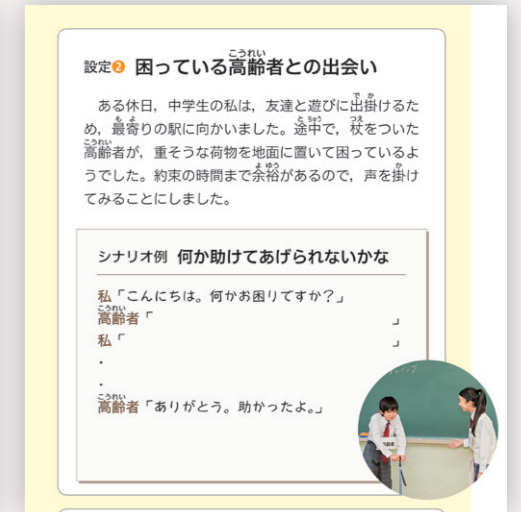
新設された「高齢者」の内容は、教科書でどのように扱っていますか。

A

- 中学校で扱う内容は、地域活動などの中で関わる(介護などの必要がない)高齢者との関わり方を工夫することです。教科書では、より豊かな生活の先をイメージできるように、高齢期の特徴を紹介するだけでなく、趣味や生きがいを持ち続けながら高齢期を送る方の資料や、専門家からのアドバイスを掲載しました(p.258-259)。
- 高齢者との関わり方(介助)については資料を設け、Dマークコンテンツの動画でも確認できるようにしました。生徒同士で体験したり、実際に高齢者の方と関わったりするときの参考になります。
- ロールプレイングでも、家族や地域のほかに高齢者との関わりをテーマにしたシナリオを掲載し、充実を図りました(p.262-263)。



▲高齢者との関わり方 p.259



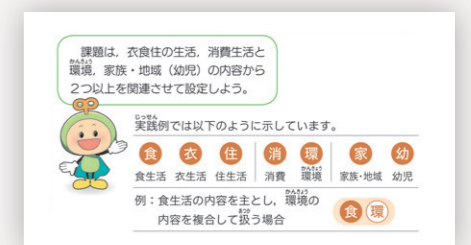
▲ロールプレイング(高齢者) p.263

Q4

内容の改訂があった「生活の課題と実践」は、教科書でどのように扱っていますか。

A

- 生活の課題と実践は実態に応じて選択できるよう巻末にまとめています(p.267-277)。実践例は学習指導要領の改訂に合わせて「C消費生活・環境」の内容を新設し、題材数を充実させ、生徒作品例として紹介しています。更に、AとB、BとC、AとCなどの内容の関連をそれぞれ明示しています。
- 課題の発見から計画、実践、評価、改善、次の課題への挑戦まで、問題解決の6つのステップを意識して進められるようにするとともに、課題の決め方やまとめと発表の仕方、思考ツールの活用なども掲載しています(p.268-271)。



▲実践例の内容における関連の示し方 p.270